

甲 賀 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時		令和6年12月6日（金）1時30分～4時45分
開催場所		甲賀警察署4階大会議室
出席者	委員	大隅忠司委員、武藤敬助委員、谷村ふみ子委員、上森秀夫委員、木村準子委員、脇阪昇委員、林初広委員、北村正之委員
	警察	筒居署長、近藤警務調査官、松吉会計調査官、依田地域課長
議事概要		
<p>1 視察</p> <p>会議に先立ち、令和6年12月2日に新築移転した甲西駅前交番の視察を行った。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「先日、歳末特別警戒出動式を行い、年末年始に向けて警察活動を強化しているところである。今回の協議会では、新築の甲西駅前交番をご覧いただき、地域警察の実態、交番・駐在所の在り方などを含めて御意見いただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 滋賀県警察署協議会代表者会議の出席結果について</p> <p>会長から、11月7日（木）に警察本部において開催された警察署協議会代表者会議の出席結果について報告がなされた。</p> <p>(2) 地域住民の安全・安心確保のための取組について</p> <p>警察から、地域住民の安全・安心確保のための取組について、交番・駐在所の現状を踏まえた説明があった。</p> <p>その際、委員から「聴力障がい者への配慮等について、東京等では赤色灯を点灯させる時、パトロール時と緊急走行時で回転数の違うパトカーが配備されていると聞くが、滋賀も配備されているのか。」旨の質問があり、警察から「以前は滋賀県警察に配置されているパトカーの赤灯の回転数は一律であったが、順次、配備される予定である。」旨の回答がなされた。</p> <p>また、委員から「長浜署の駐在所を交番化したとのことであり、良い取組だと思うが、警察官の人員はどう確保されたのか。また、駐在所をまとめるということは、いずれかの駐在所がなくなり、警察官がいない地域ができるということではないか。」旨の質問があり、警察から「交番は最低でも1当務2人、3当務班で6人体制となる。管轄は広がるが、複数の駐在所をまとめること</p>		

で交番化している。また、いずれかの駐在所の建物を使うことになり、拠点が1箇所になるが、地元住民に御理解いただいております、拠点の有無にかかわらず、夜間をカバーできることのメリットに目を向けていただきたい。」旨の説明があった。

さらに、委員から「交番化のメリット」について質問があり、警察から「現状は、発生件数の多い都市部の方は交番化されているが、駐在所管内での夜間の事案対応により、必要とされる交番の管内に空白が生じている状態である。警察官を増員できればよいが、現実には難しい。駐在所員の力を夜間にシフトしていくなど、今ある限られた人員を有効活用していきたいと考えている。」旨の説明がなされたほか、「地元の駐在所が無くなった時は不安だったが、24時間いつでもパトロールしてもらえの方が安心感は強まる。地元住民の意見を取り入れつつ交番化を進めるべきである。」旨の意見があり、警察から「地域密着型の良さもあるので、残す必要のある駐在所もあるが、現代は携帯電話での通報により最寄りの警察官が現場に向かうことができるので統合による心配は無用である。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から「少年補導員の活動において、交番の警察官の存在は大きな力になる。」、「今日は交番を視察し、現状の説明を受け、交番活動についてよく理解できた。交番に地元の子供たちの絵が飾られていたのが印象的で、交番も地元にも密着しているのだと感じた。」、「子供たちの学習で交番見学に付き添った際、交番の警察官が丁寧に説明をしてくれ、子供たちが喜んでいました。交番も地域密着型だと感じた。」、「交番の中を視察させていただき貴重な機会に感謝している。危険と隣り合わせの中で、交番の警察官が緊急事態に備えていることも知ることができて良かった。」、「水口地域は警察官が充実しているが、甲賀・土山地域は空白である印象がある。面積も関係あるだろうが、水口地域の犯罪が少なくなって空白地域に交番ができることを願う。」旨の意見があった。

これらの意見に対し、警察から「交番の警察官も地域に密着した活動をしており、24時間常に危険と隣り合わせで勤務している。」、「信楽・土山地域等では、現に夜間に金属盗等の事案が発生しているので、今後も警ら活動の強化を徹底する。」旨の回答がなされた。

4 会長総括

会長から「本日は、新築交番の視察という貴重な経験をさせていただいた。新しい交番で勤務している警察官が快適に仕事ができている様子だったのが何よりであった。」旨述べられた。

5 次回協議会の日程

2月中旬頃に開催予定